

# 生活介護の日中活動における取り組みと 支援について考える

～創作活動やリフレッシュ活動を  
通して～



社会福祉法人 愛護会

障がい者支援施設 興郷塾

生活支援員 藤澤 則子

## 1、 研究主題

生活介護の日中活動における取り組みと支援について考える

～創作活動やリフレッシュ活動を通して～

## 2、 主題設定の理由

当施設は、昭和52年4月1日、精神薄弱者授産施設「興郷塾」として開設した。50名の定員で授産活動（生産活動・福祉的就労）を行う施設であった。それから、長い年月を経て、めまぐるしい制度の変革により、平成24年1月より、新体系事業に移行し定員40名の障がい者支援施設興郷塾として、生活介護事業・施設入所支援事業がスタートした。

開所当初若かった利用者も、現在は、高齢化、重度化してきており、作業が難しくなってきたり、体が思うように動かなくなったり、作業に来ても座っているだけ、見ているだけ、作業場に定着出来ないなどの利用者が多く見られる現状である。

現在の支援体制における生活介護事業とは、主として昼間において、生産活動および創作活動の機会の提供、入浴、排泄および食事の介護、調理、洗濯、掃除等の家事ならびに生活等に関する相談、および助言、その他日常生活上の必要な支援を行うことである。

施設入所支援事業とは、主として夜間において、入浴、排泄および、食事等の介護、生活等に関する相談および助言、日常生活上の支援を行うことである。

興郷塾では平成24年1月から3ヶ月間、生活介護事業として創作活動を実施してみた。しかし、長年の積み重ねのある生産活動に比較し、創作活動については職員も経験がないため、どのような活動をすれば利用者に受け入れてもらえるのかわからず、試行錯誤の毎日を経た。高齢化、重度化し、作業についていけなくなった利用者が、生産活動以外の活動である創作活動やリフレッシュ活動、体力づくりなどにも、生き生きと参加できるようになってほしいと考えた。そこで、利用者の満足度を高め、進んで参加し充実感を持ってくれる活動の取り組みと支援について考えたく、本研究テーマを設定した。

## 3、 研究のねらい

- ・達成感や喜びを感じられるような創作活動や体力づくり、リフレッシュ活動等を工夫する。
- ・利用者が積極的に参加したいと思える活動を工夫しながら、体力の保持や健康増進につなげる。

#### 4、 研究の仮説

- ・ 利用者の希望や要求を受けながら、活動を工夫して提供することにより、利用者も積極的に参加し満足すると共に、楽しみながら体力づくりができるのではないかと。

#### 5、研究内容と方法

- (1) 創作活動やリフレッシュ活動の検討
- (2) 利用者の希望の調査
- (3) 種々の活動の工夫と実践

#### 6、研究の経過

平成 24 年 1 月から新体系事業に移行し、生活介護の日中活動として、生産活動班、創作活動班の 2 班に分かれて活動がはじまった。それまでの日課の流れから、作業ができなくても作業に行きたいという利用者が多く、創作活動に参加したいという利用者は、少なかった。利用者の高齢化、体力の低下が感じられるようになった状況の中で、どうしたら利用者が活動に参加したくなるか、楽しく参加できるかと職員間で話し合いながら進めてきた。まだまだ手探り状態であり、1 月からの 3 ヶ月間は、職員の趣味的な活動を中心としながらの取り組みに終わった。

平成 24 年度からの取り組みも、旧授産施設からの習慣化と作業への意識が強く、多数の利用者が生産活動を希望し、白金の部品組み立ての作業や回進堂の箱折り作業など生産活動が主体的な取り組みであったが、現況として作業についていけなくてもその場において、ただ座っている利用者がいたため声がけを行いながら、塗り絵や折り紙、散歩などの活動に誘ってみることにした。数人の利用者から反応があり、少人数での活動から始めてみた。無理なくスムーズな導入を図る為、利用者の年齢や体力に合わせ、実施することが大切であると考え種々の活動に取り組んだ。

活動状況としては、塗り絵、折り紙、貼り絵、音楽活動（音楽療法士の資格を持つ職員による）、季節の飾り作り、紙芝居、ドライブ、散歩、地域行事への参加、ボランティア活動（ふれあいの丘公園周辺の清掃活動）、手作りゲーム、習字など様々な活動を立案し、年齢や体力面に配慮しながら、興味への対象の拡大が図られ、楽しく意欲的に参加できる活動内容を週単位でのプログラムを作成し、利用者の声を反映しながら充実した日中活動ができる体制作りを進めて来た。

一年間の活動を通して、次のような課題が上げられる。

- ・ 職員の出勤とその職員が得意とする活動を週案にまとめて見ることにした。

しかし、なかなかスムーズな週案が出来ず、当日の勤務者が何をしたらよいか戸惑うことがあり、利用者に満足出来る支援があまり出来なかった。

- ・職員の準備不足にもより、その日に使用する材料がない事もあり、職員間の引き継ぎや連絡を密にする事が大切であると感じた。
- ・利用者については、一週間の週案が出来たことで、事前に活動の内容が伝わるようになり、その日の担当が、どの職員なのかかわかると楽しみにするようになった。その反面、その日の納品等の関係や、職員の勤務の状況により、予定が変更になると説明しても理解されず、了承してもらうのに時間を要したこともあった。
- ・体力の保持や健康の増進については、積極的な活動までは行かず、散歩、ドライブ、ゲームといった内容で終わってしまっている。高齢化、重度化した利用者にとっての活動内容の検討、職員間の研修等が必要と感じた。
- ・リフレッシュ活動としての音楽活動は、利用者の情緒の安定と運動につながると共に、利用者の満足度が高いので継続したいと考えた。

## 7. 研究の実践

### (1) 創作活動やリフレッシュ活動の検討

平成 24 年度の活動の反省、課題をもとに、25 年度は、様々な活動に取り組んでみた。取り組んでいく中で、職員間での話し合いを再度重視してみる。また、アンテナを高くして、広報やインターネット、新聞等を見て地域の行事や祭り、催し物を探してみることにした。更に、社会福祉協議会やいろいろな職員の紹介により、ボランティア活動をしている人たちを探し、活動日に合わせて、来塾してもらうようお願いをした。

活動の取り組みについて、利用者から好評だった活動については、継続して取り組んでみた。施設の中だけの活動にとどまらず、公用車を利用して外出したり、近くの公園まで出かけて遊んだり気分転換を図ってみることにした。また、職員がレクレーションセミナーの研修に行き、そこで学んだ技術を活動に取り入れた。

### (2) 利用者の希望の調査

昨年度はなかなか利用者の意見が出なかった。平成 25 年度は、利用者が意見を出しやすいようにリラックスして話ができるような雰囲気作りをした。そして利用者の意見や要望についても重視し利用者と職員の生活介護会議を行うことにした。毎月の末に、職員と利用者の会議を開き、意見を聞く時間を設けた。このような時間を設けたことで、利用者からの意見や感想を引き出すことができた。(資料 1)

## 資料 1

## 利用者と職員の生活介護会議の結果

| 月   | 意見数                  | 利用者の意見                                                                       |
|-----|----------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 4月  | 特になし 31人<br>意見あり 7人  | ・はじめての会議だったため、意見が少なかった。<br>・ドライブ、散歩、歌、山菜取りがしたい                               |
| 5月  | 特になし 28人<br>意見あり 9人  | ・ボール転がしがしたい。・お花がいっぱいある所に行きたい。<br>・あやめ祭りに行きたい。・東京に行きたい。<br>・Zアリーナでそり滑りなどをしたい。 |
| 6月  | 特になし 14人<br>意見あり 23人 | ・作業、塗り絵、ドライブ、納品など取り組むことができて良かった。                                             |
| 7月  | 特になし 13人<br>意見あり 25人 | ・作業を続けたい。箱折、ばらの塗り絵をして楽しかった。<br>・花に散水したいため、玄関の水道を直してほしい。                      |
| 8月  | 特になし 15人<br>意見あり 24人 | ・作業、塗り絵、花作り、壁飾り、裁縫をしたい。<br>・疲れたら、休みながら作業をしたい。                                |
| 9月  | 特になし 16人<br>意見あり 23人 | ・散歩、ドライブが楽しかった。<br>・チューブ切りを覚えたい。<br>・作業を続けたい。                                |
| 10月 | 特になし 12人<br>意見あり 15人 | ・東北白金の作業が増えてうれしい。作業がうまくできた。<br>・体育館で運動して楽しかった。                               |
| 11月 | 特になし 10人<br>意見あり 28人 | ・前沢福祉の里まつり、ドライブ、散歩、リース作りが楽しかった。<br>・東北白金の作業が増えて良かったけど、人が少ないと作業が忙しくて大変だった。    |
| 12月 | 特になし 16人<br>意見あり 23人 | ・作業を続けたい。・雪かきを頑張った。・塗り絵がたのしい。                                                |
| 1月  | 特になし 12人<br>意見あり 23人 | ・ドライブがなかったので残念だった。<br>・お面作り、地図に塗り絵をするのが楽しかった。                                |
| 2月  | 特になし 9人<br>意見あり 25人  | ・編み物、音楽活動、卓球遊び、ドライブ、木柄作業が楽しかった。<br>・活動の場所が狭い。                                |
| 3月  | 特になし 15人<br>意見あり 18人 | ・仕事が少なく残念だった。<br>・ドライブ、散歩、折り紙、塗り絵、音楽活動、DVDが楽しかった。                            |

・会議を重ね、利用者の意見を聞く事で、活動では、何をしたいか、何が楽しかったかが、少しずつ見えるようになった。そこで、利用者の意見を取り入れながら、活動を進めるようにした。

・利用者からの聞き取りと職員間での話し合いに基づいて、週案、月案などを作成した。(月案:資料2 週案:資料3 活動計画:資料4 音楽活動:資料5)

・生産活動と創作活動の両方に参加したい利用者も多く、個々の要望に合わせた月案を作成し、実施した。

・利用者一人一人の個別支援計画にも反映させた。



## 資料 3

| 生活介護 2班 週案      |                                                                         | 塾長  | 補佐                                                                       | 施設入所支援<br>部長 | 生活介護<br>部長 | 担当 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------|--------------|------------|----|
|                 |                                                                         |     |                                                                          |              |            |    |
| 6月 17日 ~ 6月 21日 |                                                                         |     | 担当                                                                       |              |            |    |
|                 |                                                                         | 午前  |                                                                          | 午後           |            |    |
| 曜日              | 支援内容                                                                    | 担当者 | 支援内容                                                                     | 担当者          |            |    |
| 月               | 創作活動<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等        | ②   | 創作活動<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等         | ②            |            |    |
| 火               | 創作活動<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等        | ②   | 【こんだての会】<br>創作活動<br>・リズム体操<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等 | ②            |            |    |
| 水               | 創作活動<br>・散策<br>・ミニゲーム<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等     | ②   | 創作活動<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等         | ②            |            |    |
| 木               | 創作活動<br>・散策<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等 | ②   | 創作活動<br>・ミニゲーム<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等             | ②            |            |    |
| 金               | 創作活動<br>・食堂の展示品づくり<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等        | ②   | 創作活動<br>・ミニゲーム<br>・ぬり絵<br>・DVD鑑賞<br><br>作業<br>・箱折り、紐結び、コア組立等             | ②            |            |    |

活動計画

|    |    |    |     |
|----|----|----|-----|
| 塾長 | 補佐 | 部長 | 起案者 |
|----|----|----|-----|

起案者

平成 25年 12月 14日 9:00～15:00

|                                                                                                                                                                      |      |                                |                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------|---------------------|
| 活動場所                                                                                                                                                                 |      | 興郷塾                            |                     |
|                                                                                                                                                                      |      |                                |                     |
| 活動内容                                                                                                                                                                 |      | 午前 大道芸人演奏会<br>午後 あずきばっと（自治会活動） |                     |
| ★開始時間～午前9:00 居室、衣類の整理整頓・看板設置<br><br>午前10:00 ティータイム<br><br>午前10:30 ボランティアの大道芸人高橋さんによる演奏会(1名)<br>午後12:00 昼食<br>午後13:30 食堂掃除<br>午後14:00 あずきばっと<br><br>午後15:00 検温し入浴をする。 |      |                                |                     |
| 職員役割                                                                                                                                                                 |      |                                |                     |
| 職 員                                                                                                                                                                  | ● 1、 | ● 2                            | 中心に活動を行う。A勤、P勤も手伝う。 |
|                                                                                                                                                                      |      |                                |                     |
| 準備する物                                                                                                                                                                |      |                                |                     |
| 看板<br>あずきばっとう:すいとん ・あずき・コンロ・使い捨て食器(自治会より)                                                                                                                            |      |                                |                     |
| 参加者                                                                                                                                                                  |      |                                |                     |
| 利用者 全員(活動日)                                                                                                                                                          |      |                                |                     |
|                                                                                                                                                                      |      |                                |                     |
| 支援職員                                                                                                                                                                 |      |                                |                     |
| 日直: ● 1      A勤: ● 2      P勤:                                                                                                                                        |      |                                |                     |



## 資料5

| 塾長 | 補佐 | 部長 | 部長 | 起案者 |
|----|----|----|----|-----|
|    |    |    |    |     |

## 音楽活動(案)

平成26年2月28日(火)13:45～

起案者

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 長期目標<br>自発的な活動を高める | 短期目標<br>音楽と一緒に体を動かす。 |
|--------------------|----------------------|

| 項 目       | 曲 名               | 活 動 内 容                                                                       | 備 考 |
|-----------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-----|
| はじまり      | あいさつ              |                                                                               |     |
| 手指による微細運動 |                   | ゲー、パツをする。パツで「パツ」を大声で言う。                                                       |     |
|           | もしもしかめよ           | ゲー、パツに慣れながら、もしかめで動かす。<br>リズム運動                                                |     |
| 季節のうた(歌唱) | 北国の春<br>春が来た 春の小川 | 流行歌を歌う。季節の歌を歌う。                                                               |     |
| 粗大運動      | 365歩のマーチ          | 一度歌う<br>体操(座ったまま)～腕振り→腕の曲げ伸ばし<br>→肩たたき→隣の人への肩たたき(練習)<br>曲に合わせて運動していく 足踏みも入れる。 |     |
| 粗大運動      | 白くまのジェンカ          | ザランラップの棒を用いて運動する。<br>手元で叩き～腕あげで叩く                                             |     |
| 合奏        | 春が来た              | トーンチャイムを使った合奏(3チームにわけ)                                                        |     |
| 深呼吸       |                   | リラックス、心肺機能を高める                                                                |     |
| おわり       | 星影のワルツ<br>夕焼け小焼け  | 終わりの認識                                                                        |     |

## 反省

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 利用者の状況と観察                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 参加者 男3名 女性8名 |
| <p>久しぶりの活動であり、希望者多くあった。<br/>反応いいもの、「春が来た」「春の小川」曲の雰囲気似ているので前奏を長く弾いたり、初めの部分を歌うことで歌唱活動成立している。<br/>365歩のマーチでは、動きの流れが定着しつつあり立てる方は立ってもらい足踏みも入れて運動できた。<br/>トーンチャイムの活動の集中力は高く職員を見てどの合図で入ればいいかを全員が見ており、張りつめた空気もいい雰囲気だと感じた。<br/>Aさん・・・聞こえるか不安であったが、何をやっているのか分かるようで反応は良かった。しかし、リズムうちは難しい様子。<br/>トーンチャイムでの職員の合図からの演奏は可能であった。<br/>Bさん・・・365歩のマーチでは職員が歌うだけで体が反応し、定着できた様子。</p> |              |
| <p>今後の改善点と対応</p> <p>音楽活動の入り方。微細運動、リズム運動の入り方をもう少し工夫する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |              |
| <p>次回目標</p> <p>丁寧に体を動かす運動を行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |

| 塾長 | 補佐 | 部長 | 部長 | 起案者 |
|----|----|----|----|-----|
|    |    |    |    |     |

### (3) 種々の活動の工夫と実践

1年目の活動の反省をもとに、2年目は、利用者の意見を反映するとともに、職員で話し合ったり、探してきた活動に取り組んだ。

#### ○折り紙

折り紙に挑戦することは、巧緻性が必要であり継続が難しかったが折り紙を使用し、ハサミで切り込みを入れ母の日のカーネーション作りに取り組むなど工夫をすることで利用者の取り組む意欲が増した。その他、いろいろな折り紙の色を使用し花作りも行ってみる。素敵なお花が出来て、花瓶に挿して飾ることにより、達成感が感じられた。



【あさがお】



【カーネーション】

#### ○貼り絵

紙を手でちぎるだけではなく、白い紙を花びらなどの形や大小のいろいろな形に職員がハサミで切り、その切った紙に、色鉛筆やクレヨンで色をぬり、職員の書いた下絵に合わせて、貼っていく。不思議な色のさくらの木や紅葉の木が出来あがった。食堂やホール、秋祭りに展示することで利用者の満足感、達成感が伝わった。



【あじさい】



【もみじの紅葉】

#### ○音楽活動

音楽療法士の資格のある職員が中心となりながら、電子ピアノ、楽器を使用して歌をうたったり、手遊びをしたり、音楽に合わせて体を動かして踊ったり、空き容器で楽器を作ったりする。

電子ピアノに合わせて、手作りの楽器やトーンチャイムを鳴らし演奏をしたりすると、利用者本人が演奏家の気分になり、楽しく取り組んでいる。

また、電子ピアノに合わせて演歌をうたう事が、とても楽しみになっており、特に千昌夫さんの北国の春が大人気で、曲が流れると大きな声で歌う利用者が多い。



【活動の様子】

## ○紙芝居

何回か読み聞かせをしているうちに、手作りの紙芝居を作ったらおもしろいのではないかという声があり、画用紙を使い、絵本を参考にしながら職員が下絵を描き紙芝居を作成する。



【いっすんぼうし】



【ふしぎの国のアリス】

## ○ドライブ

職員が、活動の幅を広げるために大型の運転免許を取得した。法人のマイクロバスを利用しての外出をする機会が多くなった。



【あやめ祭り】

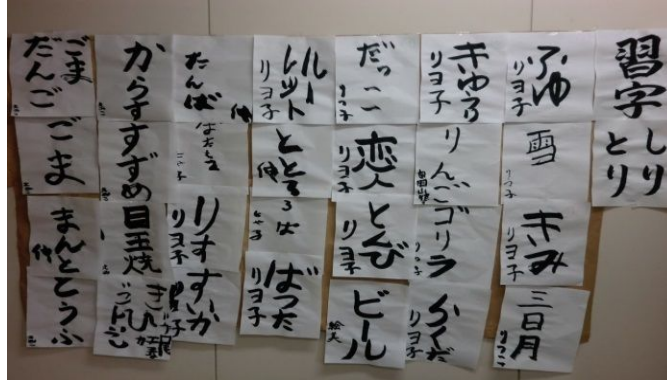


【水沢公園にてお花見】



### ○習字

小さい時に、学校で習字をした経験があり、職員の手本を見たり、なぞったりしながら取り組む。



【習字のしりとり】

### ○リズム体操

好きな音楽に合わせて、体を動かしてみる。手には、楽器やタオルなどを持ちながら取り組む。中には、利用者自身で曲に合わせ、創作の踊りを披露する人もいた。活動に変化が表れ、気分転換や体力作りにもつながっている。

### ○踊り

地元の盆踊りや祭りの音楽に合わせて、踊りを踊る。夏祭りでの音楽には、親しみがあり、自然と体が動きだしていく。一人が踊り始めると、また一人と利用者の踊りの輪が出来ている。

### ○ボランティア

平成 25 年度には、ボランティアの受け入れにも、力を入れた。

- 4 月 石川和男さんによる読み聞かせとギター弾き語り
- 5 月 歌声クラブさんによるミニコンサート
- 9 月 八幡初恵さんオルガンコンサート  
岩手二胡サークル、演奏会
- 12 月 大道芸人演奏会

3月 やっと連仙台 阿波踊り

※ いろいろなボランティアの方に来ていただいた。いつもは、部屋にいて過ごしている利用者も、音楽や歌声、楽器の音などを聞きつけて、自ら活動場所に来て、一緒になって、歌をうたったり、踊ったり、リズムをとったりして楽しんでいた。

※ ボランティアの方々に御礼状を書く活動も行った。



【二胡演奏】



【大道芸人】

## 8、研究の結果と考察

- ・平成 24 年度は、不備な面が多く、利用者からの反応があまり見られなかったが、平成 25 年度は、24 年度に出来なかったサービスを提供し、計画を充実する事で利用者の満足度も高まったと思われる。
- ・毎月、利用者との会議を持つ事で、利用者のニーズを探り活動に結びつけることが出来た。
- ・利用者個々のニーズを探ることで、生産活動と創作活動、リフレッシュ活動に交互に参加し、工賃も得ることで満足度が高まっている。
- ・活動の月案、週案、活動計画が充実してきて、当日の職員が戸惑うことなく活動ができ、また、職員の得意分野を生かした活動が出来た。それは、職員にとっては自信を持つことになり、自信を持って取り組む職員の姿を見た利用者

にとっては安心感を持って楽しく積極的に参加出来る活動につながった。

また、地域行事や、イベントへの参加、ボランティアによる活動を増やし、今までにない新しい活動を取り入れたことで、初めて会う人や珍しい催し物に興味を示し、利用者自身が進んで参加しようという気持ちを引き出せた。活動に参加したがいなかった利用者也参加するようになってきた。

- ・情緒の不安定により、たくさんの利用者の中にいることを嫌い、活動に参加したがらなかった人も、小人数での活動には参加するようになった。活動の幅が広がり、情緒が安定した方もいる。

- ・利用者自身が、やりたかった活動や活動で出来上がった作品を、ホールや食堂、行事、秋まつりなどの場に展示することで、利用者の喜びや自信、達成感にもつながった。

- ・体力づくりについては、散歩、ゲーム、体育館内での運動などに取り組んでいる。職員が研修に参加し、得た知識を実践することで、体力の保持や健康の増進に、少しでもつなげることが出来た。

- ・「活動に行きたくない」から、「活動に行きたい」に気持ちが変わってきている。

## 9、今後の課題・まとめ

創作活動やリフレッシュ活動、体力づくりなどについて、どのような活動を取り入れていけばよいのかと職員が、一人一人いろいろと考え、試行錯誤しながら取り組んできた。高齢化、重度化した利用者にとって、どのような活動や支援の方法があるのかが私達の課題でもあった。この2年間いろいろと取り組んでみたが、利用者のニーズを取り入れることが活動への意欲につながることもわかった。利用者個々のニーズが反映された月案や週案、活動計画を作成し、掲示する事により、利用者自身が活動の内容がわかり、安心して生き生きと楽しく参加するようになった。

さらに、創作活動で出来上がった作品に自信を持ち、達成感や満足感、充実感を得て、日々の生活に張りを持つことができたと感じる。これからも利用者との会議を続けながら、ニーズに合わせたより良い創作活動に取り組んでいきたいと考える。

また、利用者が満足感を感じることの一つにジュースなどの嗜好品があげられる。活動の休憩時間に自動販売機から缶ジュースを買って飲むことが楽しみになっている。体重が増えたり、なかなか体重が減少しないことの一因でもあると思われるが、楽しみを奪いたくない。生活習慣病が心配されるので、体を

動かす体力作りはますます必要になる。

体力づくりについて、体育館での運動や公園でのそりすべり等を何度か行ったり、リズム体操や音楽活動、踊りなどを行ったが、中心は散歩であった。今後は、体力の維持、健康増進を目標に、今まで以上に体力作りに力を入れていきたい。身体を動かす場所などは限定せず、体育館や公園等にもどんどん足を運んで、健康増進を図っていきたいと考える。冬季は、活動内容が限定されがちになるが、利用者、職員で話し合いを行い、利用者の声、要望を聞きながら新しい活動を取り入れていくことも必要であると感じる。

また、現在ある創作活動の部屋について、活動の内容により人数が増える場合もあり、少し狭く感じる。活動の部屋についても、今後の課題となる。

利用者の現状として、先にも述べたように老化や重度化が進んで、活動に参加できなくなったり、自分で移動することもできない利用者がある。そのような方々に、どのような支援体制や活動の内容が必要なのか考えていくことも課題である。

私達支援者は、研修を受けたり、情報を仕入れたりしながら、常に工夫・改善を心がけ、更に利用者に喜びを与えられるような活動を提供出来るように、日々努力をし、最善の支援サービスの提供に努めていきたい。そして、職員一人一人がスキルアップ(技術向上)をしながら、このすばらしいスタッフと一緒に、利用者支援に取り組んで行きたいと考える。